2021年1月9日(土)活動報告

■活動日:2021年1月9日(土) 10:00~14:00

■参加者:チーム神於山のメンバー

■活動内容

- 今回は、今冬一番の寒さの中、午前中は上部植栽地でフクロウの観察用のトレイルカメラの取り付 けと、フクロウの営巣で5月まで育林活動を控える必要があるので、危険物の片付け漏れがないか 周辺を見回りました。
- ・又、午後は、倉庫の波板屋根に積もった落ち葉落としなど、基地の倉庫回りの整理と掃除を行いま
- 活動頂いた7名の皆さん、正月早々寒い中での活動、お疲れ様でした。

■次回以降の活動 1月23日 と 2月13日の定例活動は 休止します。

- 年始に入り、新型コロナの感染者が過去最多を記録する都道府県が全国的に増加する中、大阪府は 活動当日の9日、兵庫・京都と連携し、政府に緊急事態宣言の発令を要請しました。
- 発令は未だですが、これに沿い、9日に参加された方々には当面の間、定例活動を停止する旨お伝 えしましたが、香遠代表と打ち合わせた結果、取敢えず1月23日と2月13日の定例活動は休止 することになりました。
- 今回の休止は、神於山の活動に感染の危険性がある為ではなく、大阪府の緊急事態宣言の要請を機 に、コロナの終息に向け、更に気を引き締め、初心に帰って感染防止に専念頂くことが目的です。
- ・変異種の感染拡大など、新たな脅威が危惧されているだけに、これ迄皆さんが払われて来た努力を 無にしない為にも、主旨ご理解いただき、ご了承いただきます様 お願い申し上げます。

■午前中の活動 トレイルカメラを慎重に確認し、所定の位置にセットしました。











- 3人寄れば文殊の知恵。(写真A)
- 最終設定は慎重に。(写真B)
- 第2巣箱の観察用カメラの取付完了。 取り付け方は、木に登らなくてもで きる金井さん考案のエレベーター方 式。(写真C)
- これはもう実用新案レベルです。
- 幹に固定するのも慎重に。(写真D)
- 第1巣箱の観察用も取り付け完了。 (写真E)

昨年は抱卵放棄で残念ながら孵化し ませんでした。 さて今年はどうなるか?







- 植栽地に他の入山者が立ち入っても危険はないか見回りました。(写真F)
- ・記念の一枚。右から孝橋さん・岡森さん・小林さん・土居さんです。(写真G:真砂写) ・第1巣箱の架設場所から見た上部植栽地のパノラマ。(写真H) 矢印は第2巣箱です。 冬枯れで木々がすっかり葉を落としているので、整備が終った作業道がスッキリ見通せます。

■午後の活動 倉庫の波板屋根に積もった落ち葉落しなど、倉庫回りを掃除し、資材を整理しました。









- 屋根の落ち葉を落とし、使える木材は屋根の下に収納し、廃棄 資材は焼却しましたのでスッキリしました。
- 左の看板は、昔岸和田市主催で「神於山祭り」が開催されていた 頃、シャープ関係車両のパーキング案内で作った看板です。
- 左の看板は、90cm×180cmのトタン板にペイントされた物で右の看板は、樹脂にシルク印刷されています。
- 過去の活動の記念品として残しておくことにしました。

■活動頂いた7名の皆さん。 お疲れ様でした。 (真砂写)





マスクをしていますから、誰が誰だか判りませんのでご紹介。

- ・左の写真は、昼食後の一枚。左から香遠さん・岡森さん・成瀬さん・小林さん・土居さん・孝橋さんです。
- ・上の写真は、倉庫と倉庫回りの整理が終わった後の居残り組の一枚で、左から岡森さん・ 孝橋さん・小林さんです。

■山の冬景色

寒い時は暖かいものが何よりで、特に焚き火は欠かせません。







- ドラム缶には厚い氷が張っていました
- 厚さは2cm程もあります。(写真H)
- ・焚き火の燠で成瀬さん持参の餅を焼いて 食べました。燠で焼いた、ほど良い塩加減 のお餅は、格別マイウでした。 成瀬さんご馳走様でした。(写真J)
- シイタケも凍って、凍りシイタケになって いました。(写真K)